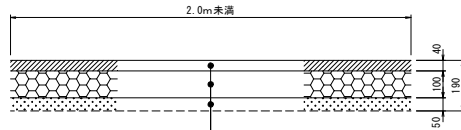


道路幅員 W=2.0m未満



表層 (透水不開粒度As13)	t= 40
路盤 (再生クラッシャーラン (RC-40))	t=100
フィルター層 (砂)	t= 50

※ フィルター層 (砂) については、現場の路床状況に応じて設置を考慮する。

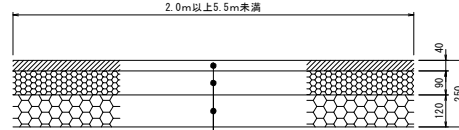
設計条件

設計CBR	-
設計期間	-
信頼性	-
設計計画交通量	-
疲労破壊輪数	-
目標T A	-

舗装構成

種別	細別	層厚 (cm)	等価換算係数	T A換算値
表層	再生密粒度As13	4		
路盤	再生クラッシャーラン (RC-40)	10		
フィルター層	砂	5		
合計		19		

道路幅員 W=2.0m以上5.5m未満



表層 (再生密粒度As13)	t= 40
上層路盤 (再生粒度調整砕石 (RM-30))	t= 90
下層路盤 (再生クラッシャーラン (RC-40))	t=120

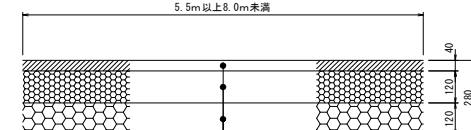
設計条件

設計CBR	3.0%
設計期間	20年
信頼性	50%
設計計画交通量	[N1]15未満 (台/日・方向)
疲労破壊輪数	1,500/10年 × (20年/10年)
目標T A	$3.07N^{0.16} / CBR^{0.3} = 3.07 \times 3,000^{0.16} / 3^{0.3} = 8 \text{ cm}$

舗装構成

種別	細別	層厚 (cm)	等価換算係数	T A換算値
表層	再生密粒度As13	4	1.00	4.00
上層路盤	再生粒度調整砕石 (RM-30)	9	0.35	3.15
下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40)	12	0.25	3.00
合計		25		10.15

道路幅員 W=5.5m以上8.0m未満



表層 (再生密粒度As13)	t= 40
上層路盤 (再生粒度調整砕石 (RM-30))	t=120
下層路盤 (再生クラッシャーラン (RC-40))	t=120

設計条件

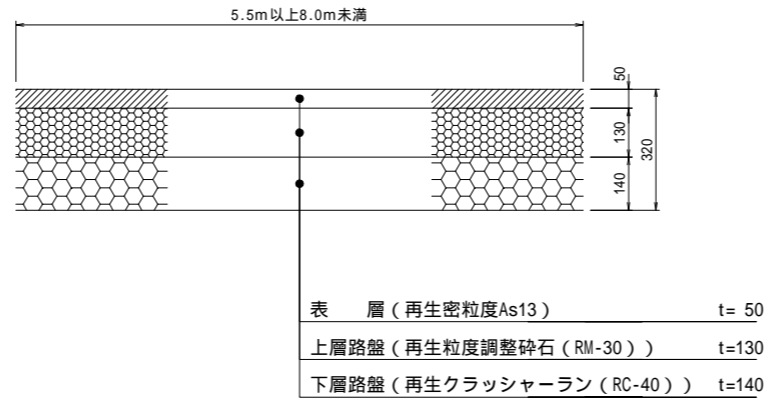
設計CBR	3.0%
設計期間	20年
信頼性	50%
設計計画交通量	[N2]15以上40未満 (台/日・方向)
疲労破壊輪数	7,000/10年 × (20年/10年)
目標T A	$3.07N^{0.16} / CBR^{0.3} = 3.07 \times 14,000^{0.16} / 3^{0.3} = 11 \text{ cm}$

舗装構成

種別	細別	層厚 (cm)	等価換算係数	T A換算値
表層	再生密粒度As13	4	1.00	4.00
上層路盤	再生粒度調整砕石 (RM-30)	12	0.35	4.20
下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40)	12	0.25	3.00
合計		28		11.20

- ※1 道路幅員は、側溝を含んだ幅とする。
- ※2 設計CBRは3.0%以上あることを想定しており、地下水位が高い、盛り土、乱し土等の路床の支持力が軟弱な場合は、CBR調査を行い舗装構成を決定する。
- ※3 本舗装構成は各幅員による一般的な構成としていることから、現場状況に応じて交通量調査やCBR試験を行い舗装構成を決定する。
- ※4 再生粒度調整砕石 (RM-20)、再生クラッシャーラン (RC-30) が流通した場合は、舗装構成の見直しを行う。
- ※5 工事 (国庫補助事業含む。) で、アスファルト合材を同一種類で50t以上使用するものは、熔融スラグ入りアスファルト合材を使用すること。

【参考】大型交通量が多い場合



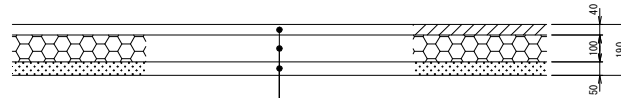
設 計 条 件				
設計 C B R	3.0 %			
設 計 期 間	20年			
信 頼 性	50%			
設計計画交通量	[N3]40以上100未満 (台/日・方向)			
疲労破壊輪数	30,000/10年 × (20年/10年)			
目 標 T A	$3.07N^{0.16} / CBR^{0.3} = 3.07 \times 60,000^{0.16} / 3^{0.3} = 13 \text{ cm}$			
舗 装 構 成				
種 別	細 別	層 厚 (cm)	等値換算係数	T A 換算値
表 層	再生密粒度As13	5	1.00	5.00
上層路盤	再生粒度調整碎石 (RM-30)	13	0.35	4.55
下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40)	14	0.25	3.50
合 計		32		13.05

- 1 道路幅員は、側溝を含んだ幅とする。
- 2 設計CBRは3.0%以上あることを想定しており、地下水位が高い、盛り土、乱し土等の路床の支持力が軟弱な場合は、CBR調査を行い舗装構成を決定する。
- 3 本舗装構成は各幅員による一般的な構成としていることから、現場状況に応じて交通量調査やCBR試験を行い舗装構成を決定する。
- 4 再生粒度調整碎石 (RM-20)、再生クラッシャーラン (RC-30) が流通した場合は、舗装構成の見直しを行う。
- 5 工事 (国庫補助事業含む。) で、アスファルト合材を同一種類で50 t以上使用するものは、溶融スラグ入りアスファルト合材を使用すること。

# 歩道舗装

※ 歩行空間整備マニュアル（令和6年4月）より抜粋

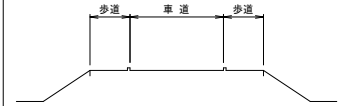
## 一般部



表層（透水性開粒度As）	t= 40
路盤（再生クラッシャーランRC-40）	t=100
フィルター層（砂）	t= 50

※ 盛土区間は別途考慮

【例】

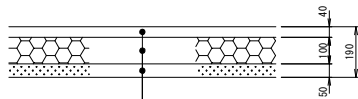


※ 乳剤は使用しないこと。  
※ フィルター層（砂）については、現場の路床状況に応じて設置を検討する。

※ 歩行空間整備マニュアル（令和6年4月）より抜粋

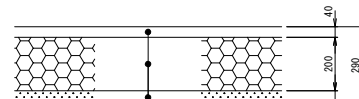
## 車両乗入れ部

### 区分 A



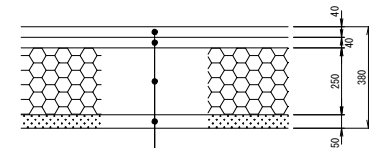
表層（透水性開粒度As）	t= 40
路盤（再生クラッシャーランRC-40）	t=100
フィルター層（砂）	t= 50

### 区分 B



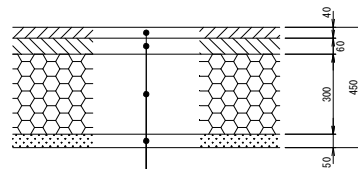
表層（透水性開粒度As）	t= 40
路盤（再生クラッシャーランRC-40）	t=200
フィルター層（砂）	t= 50

### 区分 C



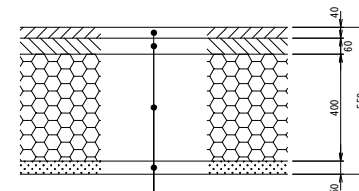
表層（透水性開粒度As）	t= 40
基層（透水性開粒度As）	t= 40
路盤（再生クラッシャーランRC-40）	t=250
フィルター層（砂）	t= 50

### 区分 D



表層（透水性開粒度As）	t= 40
基層（透水性開粒度As）	t= 60
路盤（再生クラッシャーランRC-40）	t=300
フィルター層（砂）	t= 50

### 区分 E



表層（透水性開粒度As）	t= 40
基層（透水性開粒度As）	t= 60
路盤（再生クラッシャーランRC-40）	t=400
フィルター層（砂）	t= 50

※ 乳剤は使用しないこと。  
※ フィルター層（砂）については、現場の路床状況に応じて設置を検討する。  
※ 過去に補修履歴がある箇所、軟弱地盤等により過去に沈下が発生している箇所、店舗駐車場等からの車両の出入りが多い箇所、大型車両が入り出す箇所等については、密粒度アスファルト混合物、半たわみ性舗装やコンクリート舗装等、耐久性のある材質の採用を検討すること。

### 車両乗入れ部設置基準

区分	総重量	車種別区分			切下げ幅
		車種	幅	長さ	
A	0~1 t	軽自動車	1.3m未満	3.0m未満	1.8 m
B	1~4.5 t	乗用車・小型トラック等	1.3m~2.5m未満	3.0m~5.0m未満	3.6 m
C	4.5 t 以上	普通貨物トラック等	2.0m~2.5m未満	7.5m未満	6.0 m
10.0m未満				7.2 m	
12.0m未満				9.0 m	

### 車両乗入れ部舗装の標準構造

区分	切下げ幅	総重量	車種別区分		表層	基層	路盤	フィルター層	舗装厚
			車種	長さ	透水性開粒度As	再生クラッシャーランRC-40			
A	1.8m以下	0~4.5 t	軽自動車・乗用車	3.0m未満	4	—	10	(5)	14 (19)
B	3.6m以下		小型トラック等	5.0m未満		20	24 (29)		
C	6.0m以下	7.5m未満	4	25		33 (38)			
D	7.2m以下	4.5 t 以上	普通貨物トラック等	10.0m未満	6	30	40 (45)		
E	9.0m以下			12.0m未満		40	50 (55)		